



やらまいか

クラブテーマ：新たなチャレンジ、さらなるレベルアップ

会長／柴田浩志 幹事／杉浦節子 会報委員会／吉田 悟・浅野 晋 例会／毎週火曜日 12:30 豊川商工会議所
事務局／豊川市豊川町辺通 4-4 豊川商工会議所会館内 TEL0533-86-2535 Fax0533-86-8889 HP／<http://toyokawahoi.tank.jp>

本年度第41回 通算1572回 2019年5月21日(火)	出席報告	会員総数	出席者数	出席率	4/23 修正出席率
		69名	36名	57.1%	95.3%

ゲスト：(なし) ビジター：メイクアップ受付 15名

★会長あいさつ

柴田浩志会長



こんにちは。先ほど、度会君が昨年5月15日に亡くなられて1年ということで、皆さんで黙とうをさせていただきます。

きました。早くも1年経ってしまいました。改めてご冥福をお祈りします。

令和になって最初の通常の例会になります。先週は春の行楽がありまして、大木委員長はじめ親睦委員会の皆さんには、大変お世話になりました。ありがとうございました。天気はあいにくの天気ではありましたが、大雨はなかったです。

あいにくの雨と言いましたが、宇連ダムの貯水率が0%になっちゃったので、あいにくの雨ではなく、昨日から今日にかけての雨は恵みの雨になりました。災害にならない程度に、雨が降った欲しいと思います。

残すところ、例会が5回になりました。ホッとしてきていますが、最後まで気を抜かず伊藤次年度会長にバトンタッチをしたいと思います。最後までご協力のほど宜しくお願いします。

連絡事項として、台湾の台中松竹 RC に訪問した時に、訪問された皆さんから共通経費をお預かりして、飲食代の支払いをしました。残金が残っておりますが、次年度に台湾が来訪されるような情報が来ているので、その

時の補助にしたいと思います。台湾同好会へ全額寄付をしたいと思っています。ご異議がある方は、林君に言って下さい。

★幹事報告

杉浦節子幹事

例会臨時変更のお知らせ
来週の例会についてお知らせ
本年度最終例会について

★委員会報告

樺山次年度幹事
豊川市へ「森林環譲与税の使途に関する提言」について

★新入会員スピーチ

竹本裕一会員



新入会員スピーチで何を話そうかと考えまして、私の事業所の「カンナヤ」というちょっと変わったお店の名前からご紹介させていただきます。

「カンナヤ」の「カンナ」は、木を削るカンナです。皆さん、中学生の時に技術家庭科で使ったことがあるかと思います。魚を売っている魚屋、豆腐を売っている豆腐屋と同じように、カンナを売っているカンナ屋ということで、「カンナヤ」と呼ばれるようになります。

した。

「カンナ」というのは、刃の部分鍛冶屋さんが作りまして、そのあとに木の台の部分を入屋さんという職人さんが作ります。その台入れの職人をしていた私の父が店を創業しました。カンナを作ってくれる店、カンナ屋がそのまま「カンナヤ」という名前になりました。

創業の地は、柴田会長のご自宅の近くにありました。その後、当時は家具屋さんが多くありました常盤通りに移転をしました。そして、中条町の今の場所に店を立てて移転しました。昭和58年までは木造の店舗で営業をしていました。



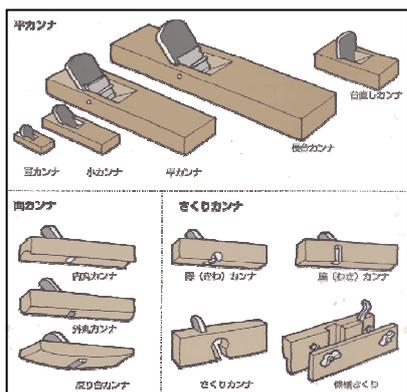
刃物・工具・建築金物の専門店



当店の取扱商品は、刃物、工具、建築金物としているので、一番にあげた「刃物」についてお話をします。

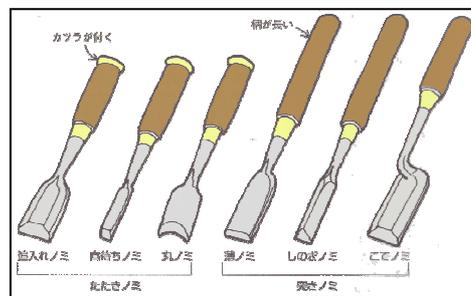
当店の店名も、元は「カンナヤ刃物店」でしたので、刃物は当店のルーツです。

カンナから始まる木工道具としての刃物は、カンナ、ノミ、ノコギリというものがあります。それぞれの用



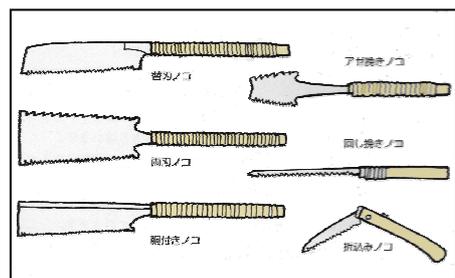
途に合わせて色々な形があります。カンナは、刃が9ミリから30センチと色々あります。カンナは平カンナ、丸く削る面カンナ、溝など削るさくりカンナです。丸く削るとか、溝を削るといのは、今は機械ですべて行ってしまいます。ほとんどこの様な手道具は使われなくなりました。

穴を掘るためのノミは、かなづちで叩いて使うノミがたたきノミ、手で突いて使うノミが突きノミと言います。その



他には、彫刻に使う彫刻刀です。彫刻刀は、形も大きさも色々とあります。富山の井波の彫刻が有名です。井波に行ったことがありますが、彫刻刀が色々とありまして、それらを駆使して立派な欄間が作られていました。

ノコギリも色んな用途、切る材料によって色んな形をしていたり、ノコギリの目の荒さが違ったりしています。



木工道具は、鍛冶屋さんが一つ一つ手作りをしています。鍛冶屋さんが高齢化して作れなくなって来ています。跡継ぎがいなくて作られなくなってしまった道具もあります。機械化が進んで、手道具は減っては来ていますが、まだまだ需要があります。職人さんが不足しているので、替刃式の工業製品が出回っています。ノコギリは、殆どが替刃式になっています。ノミやカンナも替刃式が出回っています。

園芸用の刃物は、刈込はさみ、剪定用はさみ、植木はさみ、剪定用のこぎりなどあります。これらも工業製品と鍛冶屋さんの手作り品があります。鍛冶屋さんの手作り品は人気があります。最近では、テレビの影響が大きく、番組などで紹介されると、とたんに品薄になって納期に半年、1年と掛かる商品がたくさんあります。園芸用の刃物も機械化が進んでいまして、刈込はさみはヘッジトノマ、剪定

はさみは充電式のもの、剪定のこぎりもレンジプロソーなどがあります。これらは屋外で使うので、どれも充電式が主流となっています。

家庭用の刃物としては包丁やはさみがあります。これらは、世界中から日本のものは切れるという評判で大量に輸出されています。包丁は品薄で生産が追い付いていません。

美術工芸品としての刃物の代表格は日本刀です。数百万もするものが流通しています。先ほどの木工道具の刃物でも、凄い高額の値が付くことがあります。時々「なんでも鑑定団」に登場するのですが、かんなが100万円、のこぎりが50万円、ノミの12本組が300万円と鑑定された額です。かなづちでも50万円という驚く値段がつきます。これらは、もう亡くなられた職人さんが作られたもので、入手が困難だということで高値がついたりします。

最後に包丁の研ぎについて紹介します。包丁研ぎ機が市販されています。とりあえず切れるようになりますが、刃先の部分だけを研ぐので、何回か研いでいると刃先の部分が厚くなって、切れ味が悪くなります。砥石を使って研ぐことをお勧めします。

刃物について少し紹介をさせて頂きました。ありがとうございます。

★ニコニコボックス

原田雄二会員	初孫が産まれました
寺部良洋会員	誕生日を祝って頂き
中西弘徳会員	〃
奥村雅一会員	〃
加藤哲山会員	〃
伊藤正幸会員	〃
井指光基会員	〃
小田伊佐浩会員	〃
伊藤和典会員	〃
石黒貴也会員	結婚記念日を祝って頂き
細井 勉会員	〃
早川喬俊会員	事業所創業を祝って頂き
水野太一会員	〃
熊澤克人会員	〃
来山健一会員	〃
鈴木 忍会員	結婚と入会を祝って頂き
大島嗣雄会員	創業と入会を祝って頂き

★ロータリーニュース

ロータリークラブがブラジル全国でポリオとはしかの予防接種を支援

昨年、ブラジル衛生当局は、ポリオ予防接種率の急激な低下を報告しました。これは、ポリオの大流行の危険をもたらしかねません。これを食い止めようと行動を起こしたのが、ブラジルのロータリークラブです。2カ月間におよぶ大規模な予防接種キャンペーンにより、ブラジルの1100万人以上の子どもが予防接種を受け、接種率の急激な低下に歯止めがかかりました。

ブラジル政府によると、国内の300以上の市町村で、インフルエンザ、はしか、ポリオの予防接種率が低下しており、保健省はこれを「非常に深刻な状況」と警告していました。

国内でははしかが大流行し、最終的に1,500人以上が罹患したことから、保健当局はポリオウイルスの再発生も懸念していました。そこで、少なくとも1歳から5歳までの子どもの95パーセントに予防接種を行うことを目標にブラジル全国で大規模な予防接種キャンペーンが実施されました。

はしかの症例は、北部州に集中して発生しました。ここには、経済的・政治的な苦境から逃れて何千人ものベネズエラ難民が国境を越えてやって来ます。ベネズエラの保健制度は危機的状態にあり、難民の多くは予防接種を受けていませんでした。キャンペーン中、1100万人以上の子どもが予防接種を受け、世界保健機関の推奨に応じて、子どもの95パーセントに予防接種をするという政府の目標が達成されました。

ブラジルのロータリーリーダーは、今回の活動の成功が、自国だけでなく、ポリオの再発生のリスクがあるほかの国のクラブと地区への勇気づけとなり、ポリオワクチンと、命を救うその他のワクチンの予防接種の重要性について今後も伝え続けて欲しいと願っています。

この記事は、「[Revista Rotary Brasil](#)」の記事からの抜粋です。

会報担当：吉田 悟会員・浅野 晋会員